

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名	県単道路改築事業		路河川名等	(一)小倉梓橋(停)線		
事業毎の通番	6	市町村名	安曇野市	箇所名(ふりがな)	一日市場(ひといちば)	
事業目的	当路線は安曇野市の旧三郷村を東西に貫く主要な生活道路であり、三郷小学校への通学路に指定されている。沿線は総じて住宅が連なっているが、広域農道から黒沢川までの区間を除き未改良となっている。このため、道路拡幅・歩道整備を行う必要がある。					
しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)	事業実施の根拠法令等	道路法			
関連する事業、計画等	通学路合同点検実施予定					
保全対象・範囲 受益対象・範囲	三郷小学校 通学者他 現況自動車交通量:2,579台/日、現況歩行者交通量:168台・人/12h					
着手年度	平成27年度	事業期間	8年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
完成年度(見込み)	平成34年度	費用対効果	3.4	国庫	その他 県債 一般財源	
全体事業内容(主な工種)	道路拡幅工 L=250m W5.5(8.5)m			200,000	180,000 20,000	
年度事業内容(主な工種)	測量調査 一式			1,000	900 100	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	利用者の安全確保、特に通学児童の交通事故の減少が期待される。車両通行の円滑化。				
	間接的効果(定量的・定性的)	通学路の最短化 通行車両の交通事故抑制 車両通行の円滑化。				
評価の視点	必要性	○代替道路の有無 : 代替道路があるが安全性が低い ○交通結節点アクセス : 安曇野市三郷支所へのアクセス道路、国営アルプス安曇野公園へのアクセス道路 ○生活支援・観光振興 : 三郷小学校・三郷中学校・安曇野市三郷支所・国営アルプス安曇野公園			評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : 通学路合同点検実施予定 ○緊急輸送路の路線指定 : 無し ○地域指定 : 積雪地域に地域指定			評価	C
	効率性	○費用対効果(B/C) : 3.35 ○事業期間 : 8年間(H27~H34) ○工法等の比較検討 : 今後検討 ○他事業との連携 :			評価	B
	緊急性	○近年の交通事故件数 : H25:1件 ○渋滞及び騒音・振動の緩和 : 該当しない ○歩道整備 : 未整備区間の通学路対策 ○現況の幅員、半径、勾配 : 5.5m未満			評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有 : 関係者以外にも周知(地元説明会開催) ○地域の取り組み : 協力的である。 ○地域の合意形成 : 事業目的について合意形成が図られている。 ○住民との協働 : 今後住民の関与が見込まれる。			評価	B
	部意見	事業の必要性が高いため、平成27年度から事業化したしたい。	行政改革課意見	必要性が認められる。	評価結果	総合評価
				○	B	

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)	全体計画 L=250m W=5.5(8.0)m		標準横断面図	
事業概要説明図表	全体計画 L=250m W=5.5(8.0)m			
【整備の必要性がわかる状況写真等】				
①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当箇所は、三郷小学校の通学路であるが歩道が途切れており危険な状況。			
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	地元の地区から安曇野市を通じて歩道設置の要望が出されている。			
③事業説明等の経緯	特になし			
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	特になし			
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	現道に歩道を設置することにより、住民生活環境を大きく変えることはない。			
⑥地域活性化への影響と配慮	歩道設置がされると、歩行者の安全が確保され、地域が活性化される。			
⑦その他	特になし			
	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 15' 16"		東経:E 137° 53' 41"